

勝又豊子展 不在の向こう—白い余白

令和5年第3期所蔵品展 特集



《不在の向こう》2021年、アズマティプロジェクト展示風景



《気配》2023年、Steps Gallery 展示風景

1 開催趣旨

三浦市在住の勝又豊子は、1970年代より常に「身体」をテーマにして、立体や写真、ドローイング、映像などを組み合わせた幅広い表現を行ってきました。存在感の強い鉄、レンズで拡大した身体の映像、現実感が希薄なイメージの平面など、異なる物質感をもち触覚を刺激する作品群が、私たちの知覚に強い揺さぶりをかけてきます。

近年は「不在の向こう」と題した発表を続けています。「不在」といっても存在しないわけではなく、目を凝らしてもはっきりしない人間の心理的距離を表しており、現代に生きる人々にとって切実な問題提起をしているのではないのでしょうか。本展は勝又豊子が開催する公立美術館で初めての大規模個展であり、近作・新作約15点の作品を通じて、寡黙かつ胸に迫る作品世界をご紹介します。

2 会期・会場・主催

会期：令和5(2023)年10月7日(土)～12月24日(日) 休館日：11月6日(月)、12月4日(月)

会場・主催：横須賀美術館 地下所蔵品展示室（神奈川県横須賀市鴨居4-1）

3 無料観覧日

11月3日（金・祝）

4 観覧料

一般 380（300）円、高大・65歳以上 280（220）円 中学生以下無料

*（ ）内は20名以上の団体料金 *高校生（市内在住または在学に限る）は無料

*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方1名様は無料。

お問い合わせ 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居4-1

○ホームページ：<https://www.yokosuka-moa.jp> e-mail:kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp

○取材・画像提供に関すること 総務係：安陪、池田 電話 046-845-1211

○展示内容に関すること 担当学芸員：工藤 電話 046-845-1212

勝又豊子展の見どころ

- 1 公立美術館で初めての勝又豊子の大規模個展として、美術館の吹き抜け空間をダイナミックに使い、近・新作を約 15 点展示します。
- 2 「身体」をテーマとして、立体や写真、ドローイング、映像のインスタレーションをご紹介します。
- 3 展覧会にあわせたインタビュー映像を、会場と YouTube で上映します。

勝又豊子略歴

1971 宮城教育大学卒業

2013 宮城県芸術選奨受賞

現在、三浦市在住。

1988 個展「IRON FANTASY」ギャラリー現

1999 個展「閉じ込められた現在一水」LA アート
コア・アネックス（ロサンゼルス）

2003 「アートみやぎ 2003」宮城県美術館

2013 個展「Over the Absence」EISEFABRIK Blaue
Halle(ドイツ・ハノーファー)

2016 個展「よく見る夢一海辺・異国」奈義町現代
美術館（岡山）

2017 「Why do some clocks tick differently?」
SCHLOSS AGATHENBURG(アガーテンブルグ・
ドイツ)

2022 個展「不在の向こう 2022」ATELIER・K

2023 個展「気配 INDICATION」Steps Gallery

その他、国内外での個展、グループ展多数。

短文テキスト

100 字

三浦市在住の勝又豊子は、「身体」をテーマにして立体や写真、ドローイング、映像などを組み合わせて幅広い表現を行ってきました。本展は公立美術館で初めての大规模個展として、近・新作を約 15 点展示します。

50 字

公立美術館で初めての勝又豊子の大規模個展として、映像、写真、立体など近・新作を約 15 点展示します。

20 字

映像、写真、立体など近・新作約 15 点出品。

○図版の使用等について

このプレスリリース最終ページに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

「申込書」に必要事項をご記入の上、ファクシミリまたはメールにてお申し込みください。

- ・「申込書」に記載のある画像以外には使用できません。
- ・作品画像は全図で使用してください。
- ・トリミングや文字のせなど、画像の加工・改変はできません。
- ・画像データ使用は、本展覧会の紹介のみとします。
- ・申込書に記載してあるとおりのキャプション表記をお願いします。
- ・WEBに掲載する場合は、解像度72dpi以下とし、コピーガード（右クリック不可）を施してください。
- ・再放送、転載など二次使用の場合、別途お申込みが必要です。
- ・その他、著作権により使用制限がある場合や、ご希望に添えない場合がございます。
- ・原稿は掲載前に必ず当館「広報系」の確認を得てください。
確認に期日を要するため、予め余裕をもってお送りください。
- ・展覧会場の取材、撮影をご希望の場合、当館 総務系までご連絡ください。
来館者の安全な鑑賞環境を優先するため、ご希望に添えない場合もございます。
また、事前にご連絡のない取材、撮影はお受けできません。
- ・掲載誌（紙）、媒体（DVD など）、URLなどを「総務系」あてに1部以上お送りください。

○交通のご案内

■電車をご利用の場合

- *京急線「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から
観音崎行バス「ラビスタ観音崎テラス・横須賀美術館前」

下車徒歩2分

- *京急線「浦賀」駅から観音崎行バス終点「観音崎」

下車徒歩5分

■車をご利用の場合

- *横浜横須賀道路馬堀海岸ICから約3km（約5分）



勝又豊子展 不在の向こう—白い余白

令和5年第3期所蔵品展 特集

掲載図版 申込書

FAX : 046-845-1215 横須賀美術館 行き

本展覧会の掲載図版をご希望の方は、下記へご記入の上ファクシミリにてご請求ください。必要な図版に☑をつけてください。

	
☐ 勝又豊子《不在の向こう》2021年、アズマティプロジェクト展示風景	☐ 勝又豊子《気配》2023年、Steps Gallery 展示風景

必ずご記入ください⇒ 貴社名 TEL.

貴誌（紙）名 ご担当者様お名前

メールアドレス（画像データ送付先）

ご要望事項（サイズ・解像度など）